

# SRC シンポジウム

## 21 世紀の情報メディア基盤シンポジウム

### 「音声・言語資源の供給と利用」

音声・言語情報処理の研究を行うためには各種大量の音声・言語データが必要です。このため 2003 年に言語資源協会(GSK)が設立され、主に言語データを中心に活動を進めています。国立情報学研究所(NII)では情報検索とテキスト要約・情報抽出などのテキスト処理技術の発展を目指してワークショップ型共同研究(NTCIR)を進めてきましたが、情報メディア、特に音声メディアの未来価値創成に向けて音声資源の普及・配布を推進するために 2006 年に音声資源コンソーシアム(SRC)を設置しました。NII-SRCは音声に関連する学術・教育・産業の発展に必要な電子データやソフトウェアツールの収集、配布、調査、研究および標準化を行っており、これらの活動を通じて音声資源の保存、利用、広報を促進することにより情報社会の発展に貢献することを目指しています。

本シンポジウムでは、SRC, NTCIR, GSK の活動を紹介するとともに、日本の音声・言語資源の現状を概観し、今後の進むべき道を探ります。シンポジウム終了後に簡単な懇親会を予定していますので、こちらも併せてご参加下さい。

**日時：2007年11月9日(金)13:30-16:50 懇親会 17:00-19:00**

**場所：一橋記念講堂2階 中会議室** <http://www.nii.ac.jp/map/hitotsubashi-j.html>

#### プログラム

- 開会の挨拶  
坂内正夫(国立情報学研究所 所長)
- 言語資源の意義  
長尾 真(国立国会図書館長)
- 言語資源協会(GSK)について  
田中穂積(GSK 前会長, 中京大学)
- NTCIR プロジェクトについて  
神門典子(NTCIR 代表, 国立情報学研究所)
- 音声資源コンソーシアムについて  
板橋秀一(SRC 代表, 国立情報学研究所)
- NICT-ATRにおける音声コーパスの構築  
中村 哲(ATR 音声言語コミュニケーション研究所, 情報通信研究機構)
- NICTにおけるテキストコーパスの構築  
井佐原均(情報通信研究機構)
- KOTONOHA 計画について  
前川喜久雄(国立国語研究所)
- 大規模知識資源の体系化と活用基盤構築プロジェクトについて  
古井貞熙(東京工業大学)
- 閉会の挨拶  
橋田浩一(GSK 副会長, 産業技術総合研究所)

※ プログラムは変更になることがあります

**定員 120 名**

**参加費無料**

#### お申し込み

お名前, 所属, メールアドレスを明記の上 [src-symp@nii.ac.jp](mailto:src-symp@nii.ac.jp) までご連絡下さい。  
なお、事前の申し込みが無くともどなたでも参加できますが、お席に限りがある場合がありますので、ご了承下さい。  
詳しくは <http://research.nii.ac.jp/src/> をご覧ください。

主催: 国立情報学研究所  
音声資源コンソーシアム(SRC), NTCIR  
特定非営利活動法人 言語資源協会(GSK)



後援: (社)電子情報技術産業協会  
知識情報処理技術専門委員会  
音声入出力方式標準化専門委員会  
電子情報通信学会 音声研究会  
日本音響学会 音声研究会  
情報処理学会 音声言語情報処理研究会  
言語処理学会

協賛: 人工知能学会